

ガバナー就任の

ご挨拶

ガバナー 松本 良諄

新しいロータリー年度を迎え、不肖、国際ロータリー第266地区ガバナーを仰せつかりました。もとより、不徳非力ですが、微力を尽して責を果たしたいと念じております。

国際ロータリーの本年度のテーマは「ロータリアン—奉仕に結束—平和に献身」であります。ケャールズ・C.ケラー R.I. 会長は現代の世界、そしてロータリーの現状を厳しく受けとめて、「我々は同僚ロータリアンと共に奉仕と平和に献身することを誓約して、ロータリーに入った。多様な世界において、奉仕の仕方は一様ではないが、我々はロータリーを一つにつなぐ「超私の奉仕」という理想に向かって進み、格段の努力を払って奉仕に結束し、平和に献身していることを世界に示そうではないか」と呼びかけました。

当第266地区は、6月に大阪堂島ロータリー・クラブが誕生して65クラブになり、会員は4,500人を越える大きな勢力になりました。実に素晴らしいことですが、反面、問題もない訳ではありません。会員がふえ、組織が大きくなるにつれて、形式主義、官僚化、マンネリ化等の弊害が起り勝ちですから、そのようなことのないよう、常に活性化に意を用い、ロータリアン個人としても、クラブにおいても、自主的に、確信のもてる奉仕活動をしたいものです。

さて、私は本年度のR.I. テーマと地区内の実状を踏まえて、地区の活動方針を次の通り



策定しました。

1. 職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕及び青少年奉仕の各部門において、少なくとも一つは有意義な奉仕活動を行う。
2. ポリオ・プラス・プロジェクトの推進。
3. ロータリー情報の普及。
4. 緑化の推進。
5. 国際理解と親善の推進。

私達をとりまく環境は、まことに厳しいものがありますから、これらの活動を効果的に推進するのは容易なことではありませんが、それだけに努力に値する奉仕であると申せましょう。どうか地区内のロータリアンの皆さん、互に手を取り合って、励まし合いながら、奉仕の理想の階段を、一段ずつ登って行きましょう。

新しい年度を、親睦、友愛のうちに、希望にみちてスタートされるよう、心からお祈りいたします。